

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年4月10日
明治大学の所属学部・研究科	文学部(学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2023年2月25日
明治大学卒業予定年月	2024年9月
留学先大学について	
留学先国	ドイツ
留学先大学	ハインリヒ・ハイネ大学(日本語名) Heinrich Heine Universität Düsseldorf(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ドイツ語/ドイツ語
留学期間	2022年10月～2023年2月
留学先大学で在籍した学年	-年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):ドイツ語学部 (現地言語での名称):Germanistik  <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期:9月～3月末      2学期:4月～7月末 3学期:      ～      4学期:      ～
学生数	
創立年	1965年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	日本円	備考
授業料	300	4万5000円	
宿舍費	330×5	5万×5円	
食費	150×5	2万×5円	
図書費	40	6000円	教科書代
学用品費		円	
携帯・インターネット費	20×5	3000×5円	
現地交通費		円	ゼメスターチケット(定期券)で州内の移動は無料( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	130×5	2万×5円	形態:公的保険
渡航旅費		16万円	
ビザ申請費		円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計		800,000円	

渡航関連	
<b>渡航経路</b>	
往路 出発地:成田 目的地:ローマ 経由地:アブダビ	
復路 出発地:フランクフルト 目的地:成田 経由地:アブダビ	
<b>渡航費用</b>	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:エティハド航空 料金:約16万円	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:	
<b>航空券購入方法</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:HIS)	
<input type="checkbox"/> インターネット(サイト名: )	
<input type="checkbox"/> その他( )	

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:Studenten Wohnheim) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 4 人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

留学先からの斡旋

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

10畳ほどの個室だったため、とても快適に過ごすことができた。窓からは寮の裏庭が見え、野生のリスがいたり長閑で静かな良いところだった。ただ、冬場のヨーロッパは乾燥がひどいので常に加湿はした方が良いと思う。

## 現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし  
あり(治療を受けた場所:大学病院)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし  
あり(問題の内容や相談した人等: )

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

なし

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

携帯電話: ALDI TALK というプリペイド式の SIM に登録して利用していた。

WIFI: 日本と比べると街中や店内で WIFI がつながる場所が多い。に関しては入居時に各々 WIFI ルーターを購入しなければいけなかった。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

ビザ申請のために N26 というオンラインバンクを開設したが、日常生活では基本的にクレジットカードを利用していた。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

カイロ(12 月は特に寒さが厳しいです)

基本的な日本の調味料(鶏ガラ、和風だしがあると便利です)

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
DFW2022 Partnerhochschulkurs2	留学生向けドイツ語
科目設置学部・研究科	DaF
履修期間	1セメスター
単位数	2
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	集団講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が3回
担当教授	
授業内容	ドイツ語文法、スピーキング
試験・課題など	学期末筆記試験
感想を自由記入	留学生向けの授業だったため、少しものたりなさは感じた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Einführung in die Translation	翻訳論
科目設置学部・研究科	
履修期間	1セメスター
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	Lopez Sonia
授業内容	ドイツ語からロマンス言語へいかに翻訳するか
試験・課題など	3回課題あり
感想を自由記入	一番おもしろかった。 少人数だったため発言する機会が多く翻訳の知識のみならずドイツ語習得にも役立った。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Betriebswirtschaftslehre für Nicht-Ökonomen		会計学、経営学
科目設置学部・研究科	経済学部	
履修期間	1 Semester	
単位数	2	
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 90 分が1回	
担当教授	Schmoll Rene	
授業内容	会計学	
試験・課題など	期末試験あり	
感想を自由記入	先生が早口で大変です。ただ、授業内容は世界の経営に関する話題にわたり、面白かったです。試験は完全ドイツ語で記述ありなので大変です。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Partnerhochschulkurs Lektüre		ドイツ語
科目設置学部・研究科	DaF	
履修期間	1 Semester	
単位数	2	
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 150 分が1回	
担当教授		
授業内容	ドイツ語	
試験・課題など	希望者プレゼンあり	
感想を自由記入	ドイツ語初心者のための講義で英語でクラスが進むこともありました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Sprach Training	ドイツ語スピーキング
科目設置学部・研究科	
履修期間	1 Semester
単位数	2
本学での単位認定状況	0単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	
授業内容	ドイツ語スピーキング
試験・課題など	学期末にプレゼンテーション
感想を自由記入	モチベーションの高い学生が多く、先生も発言を促してくれるため、スピーキングを向上させることができます。

### 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職     進学     未定     その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

マイナビ、リクナビ

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)  
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。  
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)  
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。  
業界によっては 2 月中にエントリーの締め切りがあるため、ドイツでも情報をキャッチアップした方が良いです。また、企業によっては留学中にウェブテストの受験があつたため、対策本をあらかじめ持参するか勉強をしてから出発するようにしましょう。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	出願、
	4月～7月	航空券購入、滞在先の確保
	8月～9月	
	10月～12月	ビザ申請(取得できず)
留学/帰国年	1月～3月	留学先の期末試験
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

半年間を通じて、ドイツは比較的治安も良く、観光よりは住むのに良い国だとわかりました。ただ、私が滞在していたデュッセルドルフという街はメリットデメリットの両面があるので、ぜひドイツ留学を考えている皆さんには留学先選びの際の参考にしていただけたらと思います。

メリット:

①Nordrhein-Westfalen 州というケルンやボンを含む大きな州に属しており、大学入学時にもらえるゼメスターチケット(州内を移動可能な定期券)が重宝する都市です。また、地理的に西側に位置しているため、フランスやオランダなどヨーロッパ諸国の旅行もしやすいです。

②アジアスーパーや日本食レストランが多いので、故郷の味が恋しくなったときはすぐに食べに行くことができます。

デメリット:

①他の都市と比べると圧倒的に日本人やアジア人が多いため、街を歩けば当然のように日本語が聞こえてきます。ドイツ語か少なくとも英語に囲まれて生活をした人には積極的にオススメはできません。

②これはメリットとも言えるかもしれませんが、HHU は日本語学科が設置されており、日本人留学生や日本語が話せる学生が多くいます。そのため、タンデムパートナーは見つけやすい反面、ドイツ語上達のためにはある程度の気合いが必要そうです。また、DaF で受講必須の留学生向け授業はレベルによって日本人しか受けていないため、体感としては日本の授業とあまり変わらず、ドイツ語上達には自主学習も必須だと感じました。

ドイツは他の国からの留学生も多く、さまざまな文化や言語に触れることができる楽しい国です。また、ほとんどの人が英語を話すことができるので、もしまだドイツ語に自信がなくてもとりあえず飛び込んでみることをオススメします。物価が日本と大きくかけ離れているわけでもなく、人々も思っていたよりも陽気で、クリスマスやカーニバルなど楽しい催しがあったり、アジア人差別がひどいわけでもない国なので、総合的に住みやすく、私は留学先にドイツを選択して本当によかったと思っています。

もしドイツ留学を検討している方がいたらぜひ何か力になれたらと思っているので、気軽に連絡してください。他国への旅行からドイツ生活でのトラブルまで、さまざま経験したと思っているので色々なこととお話できるかと思います。